

1. 新運営委員就任のご報告

2025年7月17日、消化器外科女性医師の活躍を応援する会（AEGIS-Women）総会にて新運営委員を承認いたしました。8月1日より新たな任期がスタートしました。新体制のメンバーは下記の通りです。

河野 恵美子	大阪医科大学	会長・総務(庶務)
大越 香江	日本バプテスト病院	副会長・総務(会計)・規約・広報
小林 美奈子	三重大学	学術教育・規約
和田 則仁	神戸大学大学院	相談窓口
長谷川 芙美	とりで医療センター	学術教育・相談窓口
松永 理絵	東邦大学医療センター佐倉病院	広報(ニュースレター)
林 沙貴	金沢大学	広報(SNS)
竹原 裕子	岡山済生会総合病院	学術教育
山岡 善子	北里大学	学術教育(セミナー)
窪田 寿子	岡山中央病院	学術教育(教材)
大木 亜津子	杏林大学	広報(SNS)
高村 卓志	国際医療福祉大学熱海病院	学術教育(セミナー)
野村 幸世	星葉科大学	会計監事

以下五十音順

上原 圭	日本医科大学付属病院
海野 倫明	東北大学大学院
掛地 吉弘	神戸大学大学院
北川 雄光	慶應義塾大学
調 憲	群馬大学大学院
高須 千絵	徳島大学
永野 浩昭	山口大学大学院
比企 直樹	北里大学医学部 上部消化管外科学
松原 久裕	千葉大学
宗景 匡哉	高知大学

顧問

遠藤 格 横浜市立大学

島田 光生 徳島大学

矢永 勝彦 国際医療福祉大学大学院

2. 第9回 AEGIS-Women 総会のご報告（第80回日本消化器外科学会総会）



2025年7月17日、第80回日本消化器外科学会総会会期中に第9回総会をハイブリッド形式で開催いたしました。正会員の出席者26名、委任状57通につき、会則第四章第十二条(1)の総会成立に関する項目を満たしており、河野会長により開会の宣言が行われました。2024年度の会計報告・事業報告および2025年度の予算・事業予定について承認されました。また前述しました通り、新運営委員に関する運営会議の決定を報告し承認されました。

総会に参加された先生からご寄稿をいただきました。

「AEGIS-Women 第9回総会に参加して」

神戸大学大学院医学研究科 外科学講座食道胃腸外科学分野

掛地 吉弘先生



第80回日本消化器外科学会総会の会長を務めました神戸大学食道胃腸外科分野の掛地吉弘です。この度は AEGIS-Women 総会に参加させていただき、誠にありがとうございました。

私の教室にも数名の女性消化器外科医が所属しており、内視鏡外科学会技術認定医を取得し基幹病院で活躍する者、学位を取得して海外留学に赴く者、研究と臨床の両立を目指し大学スタッフとして奮闘する者、皆それぞれのキャリアを構築しています。当教室では、家庭の事情を抱えていたり、子育て中であったりなど、様々な状況を十分に汲み取り、性別を問わず各自が力を発揮できる環境を整えることを心掛けています。

AEGIS-Women には、当教室からも私を含めた数名が会員としてお世話になっています。女性消化器外科医を増やすには、各医局の努力のみならず、貴会のような医局横断的ネットワークの存在が重要です。今回の日本消化器外科学会総会のテーマは、「創発 Emergence, more than the sum of its parts」としました。これは、個々の個体が集まって集合体となった時に新しい特性が表出する「全体は部分の総和以上のもの」という意味を持つ生物用語です。生命現象は創発のかたまりであり、外科医としてチーム医療を行う私たちも集うことで新しいものを創り出していくことを考えます。貴会も運営委員の先生を中心に、会員の皆様で協力し、新規性の高い様々な企画を展開されていると伺います。是非、この「創発力」で挑戦を続け、想いを紡ぎ、新しい時代を切り拓いてください。貴会の更なる発展を心より祈念しております。

末筆ではございますが、第80回日本消化器外科学会総会にご参加いただいた皆様、ならびに運営にご協力くださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。先生方のご健勝とますますのご活躍を衷心よりお祈り申し上げます。

「AEGIS-Women 総会に参加して」 佐世保市総合医療センター 小野 李香先生



このたびは AEGIS-Women ニュースレターへの寄稿の機会をいただき、誠にありがとうございます。佐世保市総合医療センターの小野李香と申します。平成31年度卒業、現在医師7年目で、1児の母として子育てをしながら消化器外科医として勤務しております。

私は医師4年目で出産し、5年目に復職しました。まだ外科医として経験も浅く、執刀どころか日常診療にも不安を抱えていた時期の妊娠・出産でしたので、今後のキャリアについて強い迷いがあったことを覚えています。幸いにも上司に恵まれ、男女を問わず執刀の機会を与えられ、また子育てをしながら働くことへの理解も得られました。現在ではロボット手術の執刀も任されるようになり、キャリア形成の面でも後押しをいただいています。

AEGIS-Women との出会いは、学会で会長の河野先生とお話ししたことがきっかけでした。地方ではまだ子育てをしながら働く女性消化器外科医が少なく、会員の先生方の働き方やキャリア形成に興味を持ち入会しました。AEGIS-Women の朝食会に参加し、実際に多くの先生方が前向きに活動されている姿を見聞きし、大きな励みをいただきました。外科医を志す女性の研修医も徐々に増えており、私自身も少しでも後輩たちの力になれるよう努めたいと考えています。

近年、消化器外科医数の減少が学会でも大きな課題となっていますが、その一因として職場環境の在り方が重要だと感じます。私自身は理解ある上司や職場に支えられて働くことができていますが、今後さらに多くの若手外科医が安心してキャリアを築けるような体制づくりが必要です。その中心的役割を AEGIS-Women が担ってくださることを心強く思っております。

私も地方で働く外科医の一人として、微力ながら貢献していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

3. 第80回日本消化器外科学会・AEGIS-Women 合同セッション開催のご報告

2025年7月18日、第80回日本消化器外科学会において 特別企画7「全ての消化器外科医が成長し、活躍する社会」の実現に向けて～求められるマインドセットチェンジ～が、日本消化器外科学会と AEGIS-Women の共同企画として開催されました。河野恵美子会長（大阪医科大学）が藤井努先生（富山大学）と司会を担当し、演者として大越香江副会長（日本バプテスト病院）などが発表しました。

編集担当：向山順子、松永理絵、大越香江